

東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会の 今後の推進体制について

2024年3月5日

東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会事務局

東北地域における半導体産業発展ビジョン（目指す姿と目標）

～シリコンロードのその先へ **日本・世界を支える半導体拠点 “シリコンコリドー”を目指す**～

- 東北地域はかつて、“シリコンロード”と呼ばれ、半導体関連分野の製造品出荷額の割合が約17.2%と高く、国内の重要な生産拠点。加えて、東北大学を始めとする先端の知が集積。
- 半導体関連産業による牽引が期待されるが、担い手不足が顕著な課題(※)。将来にわたり成長するためには、地域における関連人材の裾野拡大や、受け皿となる企業の基盤強化・成長が不可欠。
- 産学官連携による半導体関連産業の競争力強化を強力に推進するため、地域に広く点在する半導体関連拠点をコリドー（回廊）として結び、人・情報・モノ等が活発に行き交い、成長する地域「未来の日本・世界を支える半導体の重要拠点 “シリコンコリドー”」を目指す。

※東北の人口減少は、全国に比して15年も早い状況。2045年には生産年齢人口と老年人口が逆転する地域が増加すると予想。特に若者・女性の首都圏への流出が顕著。要因の一つとして「やりたい仕事、やりがいのある仕事が地方では見つからない」などが挙げられている。（東北経済産業局 第5期中期政策抜粋）

<東北地域の目指す姿>

<スローガン>
日本・世界を支える
半導体拠点を
目指す
～シリコンロードのその先へ
「シリコンコリドー」の形成～

産学官の円滑・緊密な
コミュニケーション

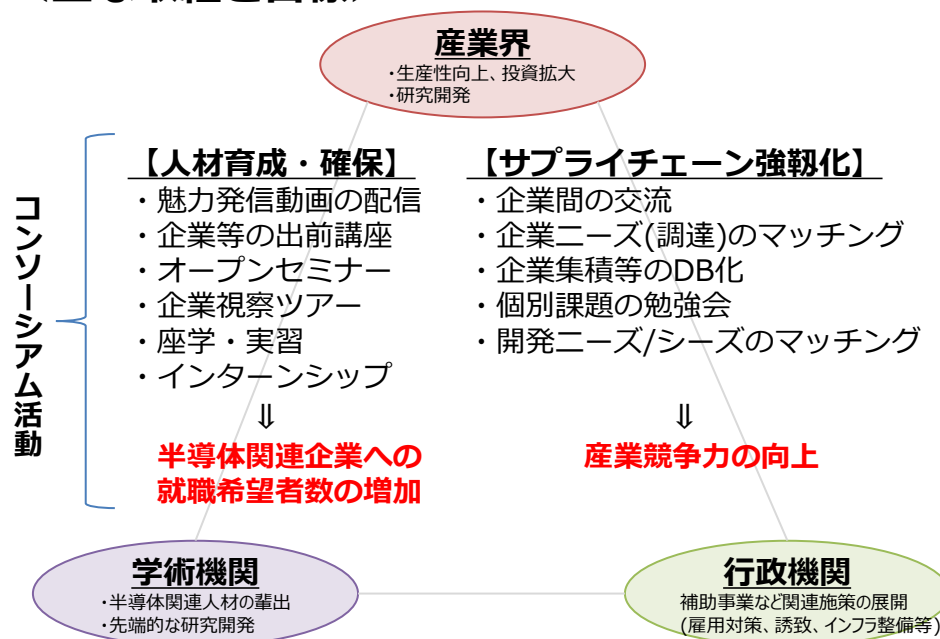
豊富な半導体関連人材の輩出

産学連携の共同開発等による
生産性向上・高付加価値化

企業間取引の拡大

関連産業の投資拡大

<主な取組と目標>



今後の推進体制について（新旧イメージ）

- 本研究会では、これまで、半導体関連人材の裾野拡大及び関連産業の基盤強化・発展に向けた東北地域特有の取組を展開。本取組を中長期的に継続していく為には、自主財源の確保やその管理運営のための体制の構築が必要。
- 多くの研究会会員から、高評価・継続するべきとの意見をいただいていることから、推進体制の見直しについて検討・議論中。令和6年度からの民間団体化(会費制導入)を目指す。

＜推進体制の新旧イメージ＞

東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会

＜参画メンバー＞

- ① 産業界 半導体等関連産業
(半導体製造企業、半導体製造装置企業、半導体ユーザー企業、中堅・中小企業 等)
- ② 学術機関 大学、高専、産総研 等
- ③ 経済団体
- ④ 行政機関 計104社・機関 (2024.1.31)

(事務局) 東北経済産業局・いわて産業振興センター

(運営費) NEDOからの受託など

人材育成・確保WG

サプライチェーン強靱化WG



Tohoku Semiconductor Electronics Design Consortium(略称：T-Seeds)

東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム

＜参画メンバー＞

従来どおり。

※会長、副会長、理事、監事を新たに設置。(次頁参照)
また、企業属性等に応じて、会員とサポーターに分別。

(事務局) 企業等からの2名程度の人員派遣(手弁当)
+ 東北経済産業局等が連携・協力

(運営費) 会費(6万円/口) ※企業規模等に応じて変動
→運営費・会費収入 ともに400万円程度を想定

ワーキンググループ(人材WG、SCWG等)

※必要に応じて、WG内に個別テーマの検討を行う部会を設立。
(例)外国人材活用部会、物流対策部会、製造装置部会 等

役員（会長、副会長、理事、監事）の役割と体制(案)について

役職	役割	任期	備考
会長	コンソーシアムを統括する代表	2年	総会において会員から1名選出 (発起人を想定)
副会長	会長の補佐	2年	総会において会員から2名以内選出 (発起人を想定)
理事	役員会(1回/年程度を想定)に出席 して業務執行の意思決定に参加	2年	総会において会員から6名以内選出 (発起人を想定)
監事	①財産の状況の監査 ②業務執行状況の監査	2年	総会において会員から2名以内選出
事務局	①コンソーシアムの事務の処理 ②各種企画の立案・実行 ③会費の管理 ④事務局定例MTG(1回/週) など	2年	・会員企業（2名程度） ・東北経済産業局など（サポート）
正会員	各種企画への参加・協力	退会まで	・半導体製造企業 ・半導体製造装置企業 ・部素材企業 など（主に製造業）
サポーター 会員	各種企画への参加・協力	退会まで	・取引企業（主に製造業以外） ・学術機関 ・行政機関 ・金融機関 ・経済団体 など

新体制の検討に向けて

- “人材育成・確保WG” 及び “サプライチェーン強靱化WG”において、これまでの取組の評価や今後の活動方針について議論。
- 新体制の構築に係る検討を行うためのワーキンググループ(体制検討WG)を新たに開催。

	人材育成・確保WG	サプライチェーンWG	体制検討WG
検討事項	✓ 2年間の活動総括 ✓ 令和6年度の活動計画案策定	✓ 2年間の活動総括 ✓ 令和6年度の活動計画案策定	✓ コンソーシアム設立に向けた検討・準備 (体制検討、設置要綱策定、予算書作成、申込準備など)
参加メンバー ※部長級	・キオクシア岩手(株) ・(株)ジャパンセミコンダクター ・(株)デンソー岩手 ・東京エレクトロン宮城(株) ・アルプスアルパイン(株) ・ラピスセミコンダクタ(株) ・(株)OMT ・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) ・東北エプソン(株) ・(株)国見メディアデバイス ・アルス(株) ・日本テキサス・インスツルメンツ(合) ・オン・セミコンダクター会津(株) ・学術機関	・キオクシア岩手(株) ・(株)ジャパンセミコンダクター ・(株)デンソー岩手 ・東京エレクトロン宮城(株) ・アルプスアルパイン(株) ・(株)OMT ・エイブリック(株) ・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) ・東北エプソン(株) ・山形サンケン(株) ・(株)国見メディアデバイス ・アルス(株) ・(株)AFSW ・福島サンケン(株) ・(株)デジタルネットワーク ・日鉄ステンレス鋼管(株)	(メンバー) ・キオクシア岩手(株) ・東京エレクトロン宮城(株) ・ジャパンセミコンダクター(株) ・デンソー岩手(株) ・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) (オブザーバー) ・行政機関 ・いわて産業振興センター
開催回数・ 時期	1回（令和6年2月16日(金)）	1回（令和6年2月7日(水)）	2回（令和6年2月1日(木) 令和6年2月19,26日(月)）

令和6年度の年間スケジュール（想定）

- 新体制の年間スケジュールは、おおよそ以下のとおり予定。なお、令和6年度以降、関係者間の議論や取組の進捗状況等に応じて、適宜見直ししながら進めることを想定。

	R5FY	R6FY					R7FY	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	...	
共通	【通年業務】入退会管理、問合せ対応、定例MTG(1回/週 程度)、各種会合の調整、会計処理など							
総会		● 第6回研究会会合(3/5) ● 設立総会	● 総会(6月中下旬)				● 総会	
役員会			● 役員会(6月上旬)				● 役員会	
人材、SC ワーキンググループ		● WGメンバー調整(4～5月) ● 第2回体制検討WG(2/19,26) ● 第5回人材WG(2/16) ● 第5回SCWG(2/7)	● 第1回人材WG(5月中下旬) ● 第1回SCWG(5月中下旬)	必要に応じて、個別テーマ検討のための部会を設置・開催			● 第2回人材WG(3月中旬) ● 第2回SCWG(3月中旬)	
人材育成・確保		事業計画・活動予算作成	一連の人材育成策(オープンセミナー～インターンシップ)					
			半導体関連産業の魅力発信					
サプライチェーン 強靱化			設備パフォーマンス維持対策、ニーズマッチング					
			企業間交流会					

アルス株式会社

キオクシア岩手株式会社

株式会社ジャパンセミコンダクター 岩手事業所

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社

株式会社デンソー岩手

東京エレクトロン宮城株式会社